NIE実践報告

１．タイトル：新聞を気軽に手に取ろう！

２．学校名

鹿児島県鹿児島市立吉田北中学校

３．実践者名（代表者名）

大重　嘉孝（谷口幸一郎）

４．学年

第１学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　13名

６．単元（本時の学習課題）名

新聞を気軽に手に取ろう！

７．目標(狙い)

ＮＩＥ実践校としての取組を理解するとともに、新聞の読み方や保管場所などを知ることができる。

８．評価の視点

意欲的に新聞を手に取り、クラスメイトと意欲的に意見交換をすることができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

社会科授業オリエンテーション（１時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（１）事前活動：年度最初の全校朝会内で今年度もＮＩＥ実践校になったことを、全校生徒に紹介する。
（２）本　　時：入学後間もない新１年生を対象に「社会科授業オリエンテーション」を実施
《導入》　「社会科をなぜ学習するのか？」：社会（世の中）の動きと直結した教科
「社会の動きを知る情報手段は？」：テレビ・新聞・ラジオ・インターネット等
学習課題の確認：「新聞から気になる情報（記事）を読み取ろう」
《展開》　ア　新聞の閲覧・保管場所に移動し、新聞が日付毎に保管されていることを知る
イ　各面の構成や見出しの意義などについて知る
ウ　実際に新聞を手に取り、気になる（お勧め）記事を読む
エ　お勧め記事をクラスメイトに紹介する
《終末》　「新聞の利点」について考える：自分のペースでいつでも読める　　カラー写真
意見交換ができる　解説がある　など

11．児童・生徒の反応、感想・意見

社会科を苦手としている生徒が多い学級のため、社会科の魅力の１つである「世の中の動き」と直結していることを実感させるために、新聞を活用した。その結果、新聞に対する関心が高まり、授業にも意欲的に参加した。

12．成果と課題

事前の聞き取り調査の結果、家庭でもほとんど新聞を読まない生徒が多いことが分かった。そこで、まずは学校で気軽に新聞を手にして、そのおもしろさや奥深さを感じ取ってもらうことを意図し、オリエンテーションを実施している。２・３年生がＮＩＥコーナーや閲覧場所に立ち寄っている姿に刺激されて、１年生も新聞を読む機会が増えたようである。

３年生においては新聞を活用した授業を年間を通して計画的に実践できたが、１年生ではあまり実践できなかったことが次年度以降の課題となった。